

黄 茂 桓（中国科学院蘭州氷河凍土研究所）

日本雪氷学会北海道支部では「北海道の雪氷」と題する機関紙を創刊することとなった。本紙が貴学会会員間の情報交流の場となり、かつ国際雪氷研究者間の学術交流のひとつのチャンネルになることを心から祈っている。

21年前、私が中国において雪氷研究をはじめた時、日本は雪氷研究の優れた国のひとつであると先輩が教えてくれた。その時以来、日本雪氷学会誌の「雪氷」や、北大低温研の「低温科学」など、日本における雪氷関係の出版物は、私に多くの知識を与えてくれた。日本に来て、日本の雪氷研究者に直接に接することが私の長年の夢であったが、以前はこの様なことが実現できるとは想像もできなかった。しかし、昨年、私は2年間日本に留学する機会を得ることができ、現在北大低温研で勉強を続けている。来日以来、日本雪氷学会の多くの皆さんからいろいろとお世話いただいたり、便宜を計っていただいたりして、非常にありがたく思っている。私が日本に来て半年、日本の雪氷学は、基礎的な研究だけではなく、人間生活に密接に結びついた実用的な研究もまた非常に発展をとげていることを身をもって感じている。私は日本滞在の2年間に、日本雪氷学のあらゆる分野の知識をできる限り身につけて帰りたいと願っている。この様な時に、この北海道に根ざした雪氷関係の雑誌が新しく作られることは私にとっても大変ありがたいことである。

過去3年間に、中日両国の雪氷研究者の友好的な往来と、学術交流と、共同研究はめざましく活発化してきた。すでに、両者間で交流した人の数は10人を越えた。いまでは、中国の雪氷・凍土研究者は、日本の雪氷研究を極めて身近なものとしてとらえることができるようになった。一方、中国側からは、中国氷河凍土学会刊の「氷河凍土」をはじめとして、いくつかの雪氷関係出版物が日本に伝えられ、日本の雪氷研究者に多くの情報を提供する様になった。今度、刊行された「北海道の雪氷」もまた、私たちが愛好できるすぐれた雑誌として発展し、中日雪氷研究者のかけ橋となることを、心から希望する次第である。

本誌への投稿を募集します

本誌は、今後年1回3月頃に発行されます。北海道に関連の深い雪氷関係解説、随筆などお寄せ下さい。また、会員への案内、ニュースなども随時掲載いたしますのでお寄せ下さい。

本誌への御意見、御要望がありましたら事務局までお寄せ下さい。

〒060 札幌市北区北19条西8丁目 北大低温研内 雪氷学会北海道支部事務局